

患者さんに  
役立つちょっと  
いい話

# 相澤病院 医療連携 かわら版

2021.11 NO.11



今回は医療福祉相談室のご紹介、職種のお話③です。医療福祉相談室では入院中の患者さんのご相談を受けています。

## 医療福祉相談室 よくあるご相談 Q&A

**Q1 介護用ベッドや車いすをどうやって準備したらいいのかわかりません。**

A1 介護保険の認定を受けられている方は、担当のケアマネジャーへご相談ください。要介護2以上の方は介護保険でレンタルができます。要支援1～要介護1の方も、保険外で自費のレンタルが可能です。介護認定を受けていない方や若年の方、小さなお子さんも自費でのレンタルが可能ですので、入院中の方や外来通院中の方は、医療福祉相談室までご相談ください。

身体障がい者手帳など福祉制度上の手続きをしている方も、わからないことがありましたら遠慮なく医療福祉相談室へご確認ください。

**医療福祉相談室では、福祉の立場から患者さんをサポートします。**

通院や入院加療中に生活面での不安や心配事があるかと思えます。医療福祉相談室では、さまざまな福祉の制度（介護保険、身体障害者福祉、高額療養費や貸付け等）をご案内していますので、お気軽に医療福祉相談室スタッフへご相談ください。詳しくはホームページもご覧ください。

相澤病院 医療福祉

検索

**Q2 入院中の支払いが心配です。**

A2 70歳未満の方には、自己負担限度額を超えて高額に支払った医療費が手続きにより戻ってくる「高額療養費制度」があります。自己負担限度額は収入に応じて異なります。あらかじめ手続きをすることで、窓口での負担が自己負担限度額だけになる「限度額適用認定証」という制度もあります。申請先は各市町村の担当窓口や勤務先等の保険者です。

また、前期高齢者、後期高齢者は、自身で支払う医療費の上限が決まっておりますが、手続き等で心配事がありましたら、入院前もしくは入院中に医療福祉相談室までご相談ください。

## 地域医療を支える病院のお仕事 職種のお話③

「病院の仕事」と言うと、みなさんはどんな職種を思い浮かべるでしょうか。「医師？看護師？・・・」。もちろん患者さんに直接治療、処置をおこなうのは医師や看護師でしょう。でも医師や看護師だけが病院を支えているわけでもありません。そこで医療業界を支える、数々の職業について「地域医療を支える病院のお仕事 職種のお話③」をお届けします。私達、慈泉会はミッションの1つとして「患者・利用者の視点に立った思いやりと確かな専門技能を有し、チームの一員として互いに協力し合い、情熱をもって前向きに行動できる人材を育て、時代の要請に応える」を掲げて頑張っています。

### No.13 医療ソーシャルワーカー(MSW)

医療的・社会的な制度の活用方法の提案から地域の社会資源の紹介、入院・退院の調整、自宅の環境整備までさまざまな役割があります。入院時から退院後の生活を見据えて、患者さんの相談を受けます。退院時に各部門と連携してカンファレンスを調整します。



### No.14 救急救命士

一般の救急隊員とは異なり、救命救急士国家試験が必要です。主に救急車内などの救急現場において医師と連絡を取りながら処置をする職業です。除細動や気管挿管、点滴処置、薬剤投与などの高度な救命処置が認められています。



### No.15 歯科医師

虫歯・歯周病の治療や予防、歯列の矯正、インプラント手術などを行います。そのほか、インプラント手術、口内炎や顎関節症などの診療も含まれます。病院では口腔内全般におこる病気に対する手術を行っています。



### No.16 歯科衛生士

虫歯や歯周病の予防や歯科医師の診療サポートをする仕事です。また、介護が必要な方に対する訪問歯科としての口腔ケアのニーズも高まっています。歯科助手とは異なり、患者の口腔内に触れる医療行為が行えます。



### No.17 介護福祉士

介護が必要なお年寄りや障害のある人に対して、スムーズな入院生活が送れるように、食事や入浴、排泄、歩行などの介助や介護者からの相談に応じてアドバイスをしたり、介護者の精神面での支えになったりすることが主な仕事です。



### No.18 視能訓練士

医療機関などで眼科関連検査を行う仕事メインとなります。視力、眼圧、視野、色覚、光覚を検査するほか、弱視や斜視の改善訓練、視力が低下した患者へ症状の進行を抑えるためのリハビリなども行っています。

